

学習指導教材センター 学力向上問題作成専門部国語科部会活動報告

1 活動のねらい

国語科の学習においては、言語の教育としての立場を重視し、国語を適切に表現し、正確に理解する能力を調和的に育成する必要がある。

そこで、全国学力・学習状況調査等の結果から、各領域・事項についての本市の実態を把握し、基礎・基本の定着を図るための教材を育成する。

2 活動内容

- (1) 全国学力・学習状況調査等の結果による本市の実態の把握
- (2) 基礎・基本の定着を図るための教材の作成
- (3) ホームページへの掲載と情報発信

3 活動状況

(1) 平成21年度

- | | | | | |
|--------|-------|----------|--------|--------------|
| 第1回研究会 | 平成21年 | 6月29日(月) | 16:00~ | 生涯学習センター 201 |
| 第2回研究会 | 平成21年 | 12月4日(金) | 16:00~ | 生涯学習センター 202 |
| 第3回研究会 | 平成22年 | 2月26日(金) | 16:00~ | 学習指導教材センター |

(2) 平成22年度

- | | | | | |
|--------|-------|----------|--------|--------------|
| 第1回研究会 | 平成22年 | 5月31日(月) | 16:00~ | 生涯学習センター 202 |
| 第2回研究会 | 平成22年 | 10月4日(月) | 16:00~ | 生涯学習センター 201 |
| 第3回研究会 | 平成23年 | 2月17日(木) | 16:00~ | 学習指導教材センター |

4 研究のまとめ

(1) 教材作成の方針について

日頃の児童生徒の言葉遣いや作文の内容などから、児童の語彙力が不足していると多くの先生方が感じている。また、本市小学校6年生及び中学校3年生が行った平成20年度と21年度の全国学力・学習状況調査等の結果から、「言語事項」及び「書く」の分野で低い傾向が見られる。

また、言語に関する能力は学習活動の基盤であることから、情緒力や論理的思考を支える語彙力を伸ばすためのワークシートを作成することとした。

(2) 「言の葉(ことのは)シート」の作成

- ・小学校、中学校に分けてワークシートを作成する。
- ・小学校においては、発展的な内容とする。
- ・中学校においては、基礎的基本的なものと、入試に役立つものとする。

(こんなのがあったらいいな、というもの)

(3) ホームページの掲載と情報発信について

- ・できあがった「言の葉シート」は、教育研究所のホームページに掲載し、先生方がダウンロードして授業に活用できるようにする。
- ・先生方が、児童の実態に応じてワークシートを加工しやすくするため、一太郎版とワード版を作成する。

5 「言の葉シート」の例

○小学校：「～しい言葉」より

【このシートは、おもしろい言葉を探して、おもしろい言葉を書き込んでください。おもしろい言葉を探して、おもしろい言葉を書き込んでください。】

おいしい、あつあつ、ぞうぞう

① ういういしい人
② あつあつしい人
③ ぞうぞうしい人

名前は、

言の葉シート

なまえ

○中学校：「助動詞に強くなる③」より

① あれは、コウガの若者である。
② まだ彼は知らない。
③ 彼は、井原のあまのこである。
④ あつあつしい人
⑤ 水が豊かな国に暮らす。

「あつあつしい」は、
「中学生らしい服装」は、
意味がさうさう、後の方は
形容詞の「強」だ。

「あつあつしい」は、
否定の助動詞「ない」は「あ」に強いかえられる。
形容詞「ない」は、強いかえられない。形式「強
い」形容詞「ない」は「ない」の「い」を入
ける「ない」だ。

「たつた」の強
い「たつた」は「たつた」に強
い「たつた」だ。

空気が新鮮だ。
＊助動詞が二つある。

水が豊かな国に暮らす。
も「水」が「たつた」だ。
小川の石が映っている。

言の葉シート

なまえ

6 成果と課題

- (1) 全国学力・学習調査の結果等から、本市の実態を把握し、児童の語彙力を高めるための教材「言の葉シート」を、小学生版、中学生版とも作成することができた。
- (2) 今後、シートの精選を図るとともに、補充していく必要がある。
- (3) シートの活用について、情報発信していく必要がある。

学習指導教材センター

学力向上問題作成専門部 算数・数学科部会活動報告

1 活動のねらい

算数・数学科の学習においては、児童・生徒の思考を促し、理解を深めるために、知識や技能の定着を図る必要がある。

そこで、テストバッテリーの結果等から、各領域・事項についての本市の実態を把握し、基礎・基本の定着を図るための教材を作成する。

2 活動内容

- (1) テストバッテリーの結果等による本市の実態の把握
- (2) 基礎・基本の定着を図るための教材の作成
- (3) ホームページへの掲載と情報発信

3 活動状況（活動はすべて生涯学習センター内で行う）

(1) 平成21年度

- ・第1回 平成21年 7月 3日（金）16：00～ 102号室
- ・第2回 平成21年11月12日（木）16：00～ 学習指導教材センター
- ・第3回 平成22年 2月 8日（月）16：00～ 学習指導教材センター

(2) 平成22年度

- ・第1回 平成22年 5月31日（月）16：00～ 学習指導教材センター
- ・第2回 平成22年11月29日（月）16：00～ 学習指導教材センター
- ・第3回 平成23年 1月27日（木）16：00～ 学習指導教材センター

4 研究のまとめの概要

- (1) 小学校算数 1年～6年生
「計算つまずきチェックテスト」
- (2) 中学校数学 1年生用の教材
「正の数・負の数、文字と式、方程式、まとめの確認問題」

5 成果と課題

(1) 成果

テストバッテリー等の結果から、本市の児童生徒の実態を把握した上で、基礎・基本の定着を図るための教材を計算領域において、作成することができた。

また、ホームページからの情報発信だけでなく、紙媒体（ファイルして小中33校に）も用意し配布することができた。

(2) 課題

本市における児童生徒の実態と教師の要望等に基づいて、教材を作成し、蓄積し、各学校における日頃の指導の中で有効に活用できるように、工夫・改善に努める必要がある。

【H21-22年度教材】

【小学校・目次】

算数・数学科教材作成専門部

| 小学校 | 目次 | プリント | 名簿 |
|---------------------|----|------|----|
| 小学1年生 計算つまずきチェックテスト | | | |
| 小学2年生 計算つまずきチェックテスト | | | |
| 小学3年生 計算つまずきチェックテスト | | | |
| 小学4年生 計算つまずきチェックテスト | | | |
| 小学5年生 計算つまずきチェックテスト | | | |
| 小学6年生 計算つまずきチェックテスト | | | |

| 中学校 | 目次 | 問題 | 解答 |
|----------------------|----|----|----|
| 中学1年用の教材 第1章 正の数、負の数 | | | |
| 中学1年用の教材 第2章 文字と式 | | | |
| 中学1年用の教材 第3章 方程式 | | | |
| 中学1年用の教材 まとめの確認問題 | | | |

目次

1年生
 ぜんぶでいくつ
 のこりはいくつ
 3つのかずのたしざんひきざん
 たしざん
 ひきざん
 2年生
 足し算の筆算
 ひき算の筆算
 足し算と引き算
 かけ算
 かけ算九九づくり
 3年生
 足し算と引き算
 わり算
 あまりのあるわり算
 かけ算の筆算(1)
 かけ算の筆算(2)
 4年生
 わり算の筆算(1)
 がい数
 わり算の筆算(2)
 がい数をつかった計算
 小数の足し算・ひき算
 小数と整数のかけ算・わり算
 分数の足し算・ひき算
 5年生
 小数のかけ算
 小数のわり算
 分数の足し算・ひき算
 分数と整数のかけ算・わり算
 6年生
 分数のかけ算
 分数のわり算

【中学1年生用プリント】

【小学1年生用プリント】

『数が苦』を『数楽』に その1

1年生 算数 数楽1

正の数、負の数の加法(1)(正の数) (1)の数の(1)の数の数

あひだりか、たしざん

1. 2 + 3 = 5

2. 4 + 5 = 9

3. 6 + 7 = 13

4. 8 + 9 = 17

5. 10 + 11 = 21

6. 12 + 13 = 25

7. 14 + 15 = 29

8. 16 + 17 = 33

9. 18 + 19 = 37

10. 20 + 21 = 41

1年生 けいざんチェックテスト No.1(1/8)

| | | |
|---------|----------|--------------------|
| ぜんぶでいくつ | くみ けい たい | たしざん |
| のこり | | たしざんのかずにかくことができます。 |

◇ スをみて こたえなしょう。

ふえると なんびきに なるでしょうか。

1. はじめに _____ ひき

2. _____ ひき ふえると

3. ぜんぶで _____ ひき

4. しき _____

こたえ _____

学習指導教材センター 地域教材作成専門部（理科）活動報告

1 活動のねらい

足利は、豊かな自然に恵まれた美しいまちである。身近な自然や事象に対する児童生徒の興味・関心を高め、主体的な問題解決学習を展開するためには、児童生徒の実態に即した学習資料の開発・改善に努めることは重要である。

そこで、今回は新学習指導要領における小学校の新単元での教材開発をとおして、わかる授業への改善を目指すこととする。

2 活動内容

- (1) 電気の学習についての児童生徒の実態調査
- (2) 小学校6年生の新単元（電気のはたらきと利用）についての教材研究
- (3) 思考力を育成するための教材研究（ブラックボックスの教材開発）
- (4) 授業に活用できるビデオ教材の開発
- (5) ホームページによる情報発信

3 活動状況

- (1) 平成21年度
 - 第1回研究会 平成21年 6月23日（火） 16：00～ 学習指導教材センター
 - 第2回研究会 平成21年 8月19日（水） 9：00～ 学習指導教材センター
 - 第3回研究会 平成21年12月 3日（木） 16：00～ 学習指導教材センター
- (2) 平成22年度
 - 第1回研究会 平成22年 5月20日（木） 16：00～ 学習指導教材センター
 - 第2回研究会 平成22年 8月19日（木） 14：00～ 学習指導教材センター
 - 第3回研究会 平成22年10月 4日（月） 16：00～ 学習指導教材センター

4 研究のまとめ

(1) 教材作成の構想

教材作成を行うにあたり、次のような4つの点から教材の構想を考えた。

| | | |
|--------|-----------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 目 次 | 1 児童生徒の実態調査結果 | 1 児童生徒の実態調査結果 ・電気の学習に関する意識調査と 小3、小4、小6の学習内容について |
| | 2 「発電と電気の利用（小6）」の基礎データ | 2 「発電と電気の利用（小6）」の基礎データ ・コンデンサーについて ・発光ダイオードについて ・手回し発電機の利用上の注意点について |
| | 3 ブラックボックスを使った思考力を育てる授業について | 3 ブラックボックスを使った思考力を育てる授業について ・ブラックボックスの説明 ・指導案（中2の実践例）と小4のワークシート |
| | 4 直列つなぎと並列つなぎの違い（ビデオ教材） | 4 直列つなぎと並列つなぎの違い（ビデオ教材） ・電池2個を直列と並列につないだとき、モーターの回転や豆電球の点灯時間がどう違うか。 |

(2) 作成した教材について

目次

《教師用資料》

1. 児童生徒の実態調査結果

- ・ 考察 (16頁)
- ・ 集計 03版 (26頁)
- ・ 実態把握の調査問題
- ・ 意識調査(4頁) 03版 一太郎版
- ・ 3年用(pdf) 03版 一太郎版
- ・ 4年用(pdf) 一太郎版
- ・ 6年用(pdf) 一太郎版

2. 小学校6年「発電と電気の利用」の基礎データ

- ・ コンデンサーについて
- ・ 発光ダイオードについて
- ・ 手回し発電機の利用上の注意点について

3. ブラックボックスを使った思考力を育てる授業について

- ・ ブラックボックスについて
- ・ 小学校4年「電気のはたらき」発展教材用ワークシート (一太郎版)
- ・ 中学校2年「電流」導入教材(指導例) (一太郎版)

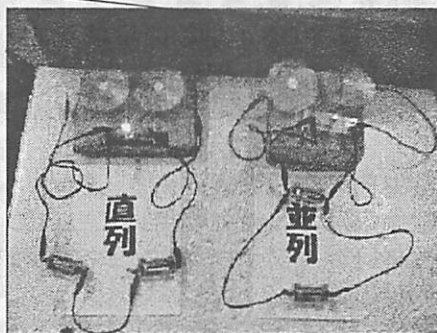
《児童用教材》

◎直列つなぎと並列つなぎの違い(小学校4年用ビデオ資料)

- ・ 低速回転用(解像度小)
- ・ 高速回転用(解像度大)

・ 電池2個を直列つなぎと並列つなぎにしたとき、モーターの回転や豆電球の点灯時間の違いをメディアプレイヤーによる動画再生で確認できる。

電気のはたらきと利用について

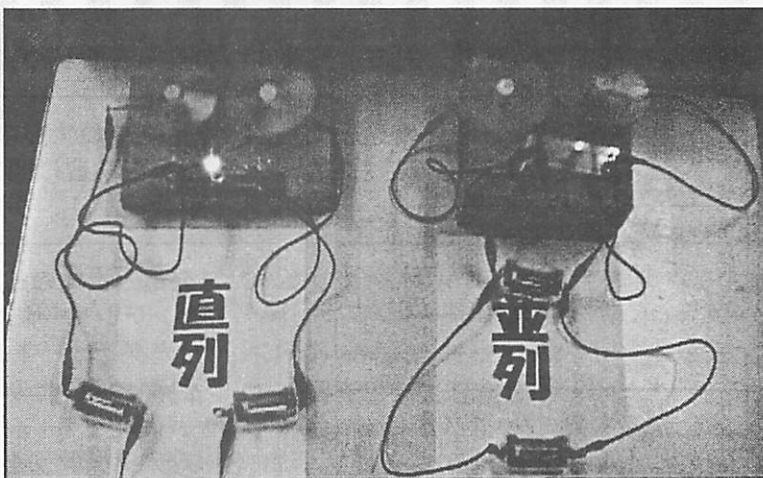


電気の学習について、調査問題のダウンロードや調査結果が確認できる。

地域教材作成専門部 (理科)

- ・ コンデンサーについて
 - ・ 発光ダイオードについて
 - ・ 手回し発電機の利用上の注意点について
- クリックすると詳しい説明が分かる。

・ ブラックボックスの教材の説明と中学校2年生の指導案や小学校4年生のワークシートがダウンロードできる。



5 成果と課題

- (1) 電気の学習内容についての興味・関心や習得状況について、小学校6年生と中学校2年生を対象に実態調査を行い、その状況を把握することができた。
- (2) 小学校6年生の電気の学習における新しい教材について、教材研究や予備実験を実施し、実際の授業で活用できるデータを提供することができた。
- (3) 今後の課題としては、中学校との関連を考慮し、電気の学習における系統的な指導計画や評価規準について資料を加えることが考えられる。

1 活動のねらい

国際化社会に生きる児童生徒にとって、コミュニケーション能力と多様なものの見方、考え方を身につけることは、重要な課題である。

そこで、小中学校における英語学習や国際理解教材の収集・作成をし、コミュニケーション能力を育成していくこととする。特に、平成23年度から小学校で実施予定の「外国語活動」を見据えての具体的な情報発信をするとともに、小中連携を踏まえたわかる授業への改善を図る。

2 活動内容

- (1) 小中学校の授業を参観し合い、相互理解を深めるとともに、問題点を考える。
- (2) 「小中学校の連携を考慮したクラスルームイングリッシュ」の作成とその実践
- (3) 「小中学校で共通の主な動詞の使用例一覧」の作成
- (4) 作成資料のホームページからの発信

3 活動状況

平成21年度

| | | | | |
|--------|-------|----------|--------|------------|
| 第1回研究会 | 平成21年 | 5月28日(木) | 16:00～ | 学習指導教材センター |
| 第2回研究会 | 平成21年 | 7月13日(月) | 16:00～ | 山辺中学校 |
| 第3回研究会 | 平成22年 | 1月22日(金) | 16:00～ | 山辺中学校 |

平成22年度

| | | | |
|--------|----------------|--------|-------|
| 第1回研究会 | 平成22年10月19日(火) | 16:00～ | 山辺中学校 |
| 第2回研究会 | 平成22年11月25日(木) | 16:00～ | 山辺中学校 |
| 第3回研究会 | 平成23年1月18日(火) | 16:00～ | 山辺中学校 |

4 研究のまとめ

(別紙)

5 成果と課題

(1) 研究の成果

- ①小学校における英会話学習と中学校における英語科の学習との円滑な接続が図られるような手立てを工夫することで、中学校で、小学校段階での英会話学習を通じて育成された素地を踏まえることへの配慮を示すことができた。また、小中学校の連携の具体的な方法を示すことができた。
- ②「小中学校の連携を考慮したクラスルームイングリッシュ」の作成により、研究の成果を日々の実践に生かすことができた。

(2) 今後の課題

- ①小学校英会話学習と中学校英語教育の円滑な連携が取れるように、各中学校区ごとの連携方法などの研究を進めていく必要がある。

小中学校の連携を考慮したクラスルームイングリッシュ

| | | | |
|------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------------|---------------|
| 1 授業開始時のあいさつ | | | |
| Good morning. | Hello. | | |
| Good afternoon. | | | |
| How are you? | | | |
| 2 授業終了時のあいさつ | | | |
| See you. | That's all for today. | Have a good (nice) ~. | |
| Good-bye. | | | |
| 3 ウォームアップ | | | |
| What's the date today? | What time is it now? | When is your birthday? | |
| What day is today? | | What's your favorite ~ ? | |
| How is the weather today? | | How many ~ do you have? | |
| | | How do you say ~ in English? | |
| 4 子どもに出す指示 | | | |
| ア 席に着く | | | |
| Sit down. | Take your seat. | Return to your seat. | |
| | Go back to your seat. | Please sit down next to ~. | |
| イ 立つ | | | |
| Stand up. | | Stand in pairs. | |
| ウ 並ぶ | | | |
| Make ~ lines. | | Move back. | |
| エ 始める | | | |
| Are you ready (OK)? | | | |
| Let's start (today's lesson). | | | |
| オ グループを作る | | | |
| Make pairs. | Make (lunch, ~) groups. | Make ~ teams. | |
| Make a (big) circle. | Find your partner. | | |
| カ その他の指示 | | | |
| Be quiet. | Any volunteers? | Come to the front. | |
| Listen carefully. | Speak clearly, please. | Guess. | |
| Repeat after me. | Take one and pass. | Pencil down. | |
| Stop. | | Draw a card. | |
| Look. | | Let's review. | |
| Raise your hand. | | I can't hear you. | |
| Wait. | | Speak in English. | |
| Come here. | | Say it in English. | |
| Time's up. | | | |
| Open your books to page 8. | | | |
| (Are you) finished? | | | |
| Look at ~. | | | |
| Here you are. | | | |
| 5 子どもをほめる、励ます言葉 (自分なりに、ニュアンスの違いを認識して使う。イントネーション、ジェスチャー等を工夫して) | | | |
| Good. | Good job. | Very good. | That's right. |
| Great. | Nice. | Excellent. | Wonderful. |
| Perfect. | Fantastic. | No problem. | |

小中学校で共通の主な動詞の使用例一覧

| 動詞 | 小学校で使われる表現 | 中学校で使われる表現 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| come | Come here. (クラスルームイングリッシュ) Come to the front. (クラスルームイングリッシュ) Will you come to my Christmas party? (5年生12月) I'm coming. (今行きます) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・クラスルームイングリッシュやティーチャーズトーク等で使っていくとよい。 | Please come down. (p97) 来る The poison is coming out. (2-p41) (外に) 出る It comes from the British. (2-p54) ~からきている、~に由来する |
| | What food do you eat? I eat bread and butter. (3年生5月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「食べる」は身近なことなので、もう少しいろいろな学年で使っていくとよい。 | Miki eats a cake every day. (p68) ~を食べる We always eat lunch in our classroom. (2-p3) ~を食べる |
| get | How can I get to Ashikaga Gakko? (6年生1月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・6年生で学習する「~へ着く」という表現は難しい。 | I got up at seven. (2-p6) 起きる They can get land and food. (2-p24) ~を手に入れる |
| | Give me the book. (クラスルームイングリッシュ) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「~をあたえる」という意味で扱うことがほとんど。 ・クラスルームイングリッシュやティーチャーズトーク等で使っていくとよい。 | I will give you some examples. (2-p53) ~をあたえる Because cars and machines give off heat. (2-p63) ~を(熱などを)発する |
| go | Go back to your seat. (クラスルームイングリッシュ) Who goes first? (クラスルームイングリッシュ) Who goes next? (クラスルームイングリッシュ) Where do you want to go? (3年生2月) I go to bed. (3年生5月) Let's go to the park. (4年生7月) How did you go to Taipei? (5年生1月) Who do you want to go with? (6年生7月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「~へ行く」という意味で扱うことがほとんど。 ・クラスルームイングリッシュやティーチャーズトーク等で使ったり、単語の導入などで児童に問いかけたりして使っていくとよい。 | Do you sometimes go to Okinawa? (p48) 行く My uncle went to Sydney. (2-p4) 行く Will they go back to the wild? (2-p23) ~へ帰る What are you going to do tomorrow? (2-p28) ~するつもりだ |
| | Have a good weekend. (クラスルームイングリッシュ) How many books do you have? (クラスルームイングリッシュ) We have a supermarket near here. (4年生4月) I have a cold. (6年生4月) What do you have to do? (6年生9月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「~を持っている」という意味で扱うことがほとんど。 ・クラスルームイングリッシュやティーチャーズトーク等で使っていくとよい。 | I have a ball in my bag. (p26) ~を持っている We have guide dogs in the USA. (p60) ~がいる They have a good time. (p68) 楽しく過ごす Do you have classes outside of school? (2-p11) ~がある We have lunch in the park. (2-p26) ~食べる I have a headache. (2-p57) 頭痛がする They usually have to do it by hand. (2-p73) ~しなければならない |
| like | I like apples. (1年生10月) Walk like a lion. (3年生6月) Do you like Monday? (3年生7月) What season do you like? (3年生7月) What do you like doing? I like making cakes. (5年生7月) Would you like something to drink? I'd like to drink tea. (5年生7月) What sport do you like playing? (5年生9月) Which do you like better, soccer or baseball? (5年生9月) What sport do you like (the) best? (5年生9月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「好き」という意味で扱うことがほとんど。 ・Do you like ~? は、4年生と6年生では出てこないの、ティーチャーズトーク等で使ったり、単語の導入などで児童に問いかけたりして使っていくとよい。 | I like football very much. (p27) ~が好き Did you like today's lunch? (2-p3) ~が好き Like many people in Australia, I love sports. (2-p2) ~のように What's the weather like? (2-p20) 天気はどうですか? |
| | Make a line. (クラスルームイングリッシュ) Make pairs. (クラスルームイングリッシュ) Make a circle. (クラスルームイングリッシュ) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・クラスルームイングリッシュやティーチャーズトーク等で使っていくとよい。 | They make a sentence. (p80) ~を作る We made <i>washi</i> with him. (2-p12) ~を作る Make our breakfast. (2-p26) ~を作る This language poster was made by Mr Kurimoto. (2-p74) |
| play | I play baseball. (3年生5月) Let's play baseball. (3年生9月) I want to play <i>kendama</i> . (3年生1月) I'm playing soccer. (4年生1月) I like playing baseball. (5年生5月) Can she play the piano? (5年生9月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・高学年では授業で扱うことは少ないが、クラスルームイングリッシュとしてたくさん使っていくことができる。 | I play football. (p26) (スポーツなど) をする Tom can play the piano. (p80) (楽器・曲) を演奏する。 I played netball every Saturday. (2-p2) (スポーツなど) をする I'm playing the <i>mukkuri</i> . (2-p33) (楽器・曲) を演奏する Cambodian children like to play in forests and fields. (2-p72) 遊ぶ |
| | What do you study on Friday? (4年生11月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・ティーチャーズトーク等で使ったり、単語の導入などで児童に問いかけたりして使っていくとよい。 | They are studying Spanish. (p69) 勉強する I studied English. (2-p5) 勉強する |
| want | Where do you want to go? (3年生2月) What do you want to do? (4年生7月) I want a candy. (4年生10月) (小学校で取り入れられそうな表現など) ・「~が欲しい」という意味で扱うことがほとんど。 ・want to ~の場合は、正確さより、コミュニケーションしようとする態度を重視するとよい。 | Do you want a break? (p29) ~が欲しい Which do you want, the map or the glass? (2-p8) ~が欲しい Emi wants to be an astronaut. (2-p44) ~したい |

平成21・22年度 専門部長及び専門部員

(1) 学力向上問題作成専門部

《国語科部会》

| | | |
|-------|--------|--------------|
| 専門部長 | 久保田 文夫 | (H21 名草小学校長) |
| | 川島 初夫 | (H22 青葉小学校) |
| 専門部員 | 石川 泰代 | (H21 毛野小学校) |
| | 長竹 和彦 | (H22 毛野小学校) |
| | 羽生 博美 | (梁田小学校) |
| | 山中 理江 | (毛野中学校) |
| | 田中 利幸 | (北中学校) |
| 主担当所員 | 関根 景子 | (学校教育課) |

《算数・数学科部会》

| | | |
|-------|-------|-------------|
| 専門部長 | 小野澤 隆 | (葉鹿小学校長) |
| 専門部員 | 蒔田 拓郎 | (毛野南小学校) |
| | 赤坂 昌寿 | (名草小学校) |
| | 沖山 磨 | (西中学校) |
| | 長ヶ部 亮 | (坂西中学校) |
| 主担当所員 | 新井 啓永 | (H21 学校教育課) |
| | 福田 郁男 | (H22 教育研究所) |

(2) 地域教材作成専門部

《理科部会》

| | | |
|-------|--------|--------------|
| 専門部長 | 菅俣 輝雄 | (H21 大月小学校長) |
| | 齋藤 良一 | (H22 三重小学校) |
| 専門部員 | 石田 香那 | (H21 東山小学校) |
| | 野原 由香 | (H22 東山小学校) |
| | 太田 記生 | (H21 山前小学校) |
| | 田名網 恒介 | (H22 山前小学校) |
| | 田中 優妃 | (毛野中学校) |
| | 吉田 元保 | (坂西中学校) |
| 主担当所員 | 佐藤 宏行 | (教育研究所) |

(3) 英語科教材作成専門部

| | | |
|-------|--------|----------|
| 専門部長 | 石原 浩 | (山辺中学校長) |
| 専門部員 | 服部 英樹 | (毛野小学校) |
| | 峰崎 綾 | (坂西北小学校) |
| | 須藤 泰章 | (第二中学校) |
| | 小森 ますみ | (富田中学校) |
| 主担当所員 | 竹越 功祐 | (学校教育課) |

平成22年度 足利市立教育研究所

| | | |
|-----------------|----|----|
| 教育研究所所長（学校教育課長） | 齋藤 | 芳徳 |
| 教育研究所次長 | 鈴木 | 一弘 |
| 指導担当主幹 | 新井 | 啓永 |
| 研究職員（指導主事） | 竹越 | 功祐 |
| ” | 松村 | 由紀 |
| ” | 久保 | 恵子 |
| ” | 佐藤 | 宏行 |
| ” | 関根 | 景子 |
| ” | 福田 | 郁男 |
| ” | 長竹 | 岳志 |
| ” | 中村 | 徳幸 |
| ” | 柏瀬 | 和彦 |

紀要427

平成22年度 教育研究所研究集録

平成23年3月発行

編集・発行者 足利市立教育研究所
(足利市相生町1番地1)

代表者 齋藤 芳徳